

平成 28 年度政策評価実施結果報告書

～国家公安委員会・警察庁における政策評価の結果及びこれらの結果の政策への反映状況～

平成 29 年 7 月

国家公安委員会・警察庁

総 括 表

区分	No.	評価対象施策	予算要求への反映	機構・定員要求への反映
事前評価	1	教習用貨物自動車を取得した場合の特別償却又は税額の特別控除	-	-
事後評価	1	総合的な犯罪抑止対策の推進	○	○
	2	地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化	○	-
	3	悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止	○	○
	4	重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上	○	○
	5	政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化	-	-
	6	振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化	○	○
	7	科学技術を活用した捜査の更なる推進	○	○
	8	被疑者取調べの適正化の更なる推進	○	-
	9	暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化	○	○
	10	国際組織犯罪対策の強化	○	○
	11	歩行者・自転車利用者の安全確保	-	-
	12	運転者対策の推進	○	-
	13	道路交通環境の整備	○	-
	14	重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処	○	○
	15	大規模自然災害等の重大事案への的確な対処	○	-
	16	対日有害活動、国際テロ等の未然防止及びこれら事案への的確な対処	○	○
	17	犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実	○	-
	18	情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止	○	○

警察庁における政策評価の結果及びこれらの政策への反映状況(個表)

1 事前評価

租税特別措置等を対象として評価を実施した政策（平成 28 年 10 月 26 日公表）

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	教習用貨物自動車を取得した場合の特別償却又は税額の特別控除	自動車教習所業を営む中小企業者等が、専ら自動車の運転に関する技能の教習の用に供するために取得した貨物自動車で車両総重量が 3.5 トン以上のもの（以下「教習用貨物自動車」という。）を取得した場合に、初年度 30%の特別償却又は 7%の税額控除を受けることができるよう、教習用貨物自動車を特別償却等の対象資産とする平成 29 年度税制改正要望を行い、対象車両及び措置内容等の見直しを行った上で、所得税法等の一部を改正する等の法律に所要の改正事項が盛り込まれた。

2 事後評価

実績評価方式により評価を実施した政策(目標管理型の政策評価)(平成 28 年 7 月 14 日公表)

No.	政策の名称	政策評価の結果	評価結果の反映状況	政策評価の結果の政策への反映状況
1	【基本目標 1 業績目標 1】 総合的な犯罪抑止対策の推進	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な犯罪抑止対策のため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯ボランティアフォーラムの開催に要する経費 平成 29 年度概算要求（11 百万円） （平成 29 年度予算：11 百万円） ・ 女性・子供を犯罪から守るための施策に要する経費 平成 29 年度概算要求（7 百万円） （平成 29 年度予算：7 百万円） ・ 高齢者犯罪被害防止対策の推進に要する経費 平成 29 年度概算要求（52 百万円） （平成 29 年度予算：52 百万円） ・ ストーカー事案の加害者に関する精神医学的・心理学的アプローチに係る地域精神科医療等との連携に要する経費 平成 29 年度概算要求（15 百万円） （平成 29 年度予算：15 百万円） ・ 非行少年を生まない社会づくりの推進に要する経費 平成 29 年度概算要求（53 百万円） （平成 29 年度予算：53 百万円） ・ 人身取引事犯に係るコンタクトポイント連絡会議の開催に要する経費 平成 29 年度概算要求（2 百万円） （平成 29 年度予算：2 百万円） ・ 保安警察関係執務資料の作成に要する経費

				<p>平成 29 年度概算要求（2 百万円） （平成 29 年度予算：2 百万円）</p> <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の性的搾取等に係る対策に関する総合調整事務が国家公安委員会に移管されたことに伴う同対策の推進のための機構（性的搾取等対策官（仮称））の新設を要求し、容認された。 ・ストーカー対策等の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された。 ・人身安全関連事案対策の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された（No. 4 と同じ）。 <p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、参考指標及び達成手段を変更することとした。</p>
2	<p>【基本目標 1 業績目標 2】 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化</p>	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化のため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域警察官の安全確保・執行力強化のための各種資機材の整備に要する経費 平成29年度概算要求（544百万円） （平成29年度予算:544百万円） ○ 平成 29 年度地方財政計画において、交番相談員の導入に必要な経費が容認された。
3	<p>【基本目標 1 業績目標 3】 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止</p>	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経済犯罪等の取締りの推進による良好な経済活動等の確保のため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活経済事犯関係執務資料に要する経費 平成29年度概算要求（1 百万円） （平成29年度予算：1 百万円） ○ 環境事犯の取締りの推進による環境破壊等の防止のため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境犯罪対策（重機借上）に要する経費 平成29年度概算要求（9 百万円） （平成29年度予算：9 百万円） ・生活経済事犯関係執務資料に要する経費（上記と同じ） 平成29年度概算要求（1 百万円） （平成29年度予算：1 百万円） <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪質商法等の防止のための警察庁職員を増員要求し、容認された。
4	<p>【基本目標 2 業績目標 1】 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上</p>	目標達成	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上を図るため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な死体取扱業務の推進に要する経費 平成 29 年度概算要求：2, 828 百万円 （平成 29 年度予算：2, 828 百万円） ・DNA型鑑定の推進に要する経費（No. 7 と同じ）

				<p>平成29年度概算要求：3,440百万円 (平成29年度予算：3,362百万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車ナンバー自動読取システムの支障移転に要する経費 平成29年度概算要求(25百万円) (平成29年度予算：25百万円) <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人身安全関連事案対策の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された(No.1と同じ)。
5	<p>【基本目標2業績目標2】 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化</p>	<p>進展が大きくない</p>	<p>引き続き推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治・行政をめぐる構造的不正事案や経済的不正事案の検挙に向けて、各都道府県警察に対して、組織を挙げた端緒情報の収集・分析、内偵捜査の着実な実施、捜査幹部の指揮能力の向上等を引き続き指導することとした。
6	<p>【基本目標2業績目標3】 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化</p>	<p>進展が大きくない</p>	<p>引き続き推進</p>	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化を図るため、必要な経費を予算措置した。 ・特殊詐欺に係る警告電話事業の実施に要する経費 平成29年度概算要求(53百万円) (平成29年度予算：53百万円) ・特殊詐欺捜査用資機材借上に要する経費 平成29年度概算要求(37百万円) (平成29年度予算：37百万円) ・広域知能犯捜査センター借上に要する経費 平成29年度概算要求(57百万円) (平成29年度予算：57百万円) ・特殊詐欺助長犯罪に対する市民協力の確保に要する経費 平成29年度概算要求(2百万円) (平成29年度予算：2百万円) ・特殊詐欺事件に係る効率的捜査の更なる推進に要する経費 平成29年度概算要求(37百万円) (平成29年度予算：37百万円) <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺対策の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された。 ・特殊詐欺対策の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された(No.9と同じ)。 <p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、業績指標及び参考指標を変更することとした。</p>
7	<p>【基本目標2業績目標4】 科学技術を活用した捜査の更なる推進</p>	<p>相当程度進展あり</p>	<p>引き続き推進</p>	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学技術を活用した捜査の更なる推進を図るため、必要な経費を予算措置した。 ・DNA型鑑定の推進に要する経費(No.4と同じ) 平成29年度概算要求：3,440百万円 (平成29年度予算：3,362百万円) ・第一線警察における科学捜査力の強化に要する経費 平成29年度概算要求：1,901百万円

				<p>(平成29年度予算：674百万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険ドラッグ対策に要する経費 平成29年度概算要求：244百万円 (平成29年度予算：240百万円) ・デジタルフォレンジック用資機材の増強等に要する経費 (No. 18 と同じ) <p>平成 29 年度概算要求 (102 百万円) (平成 29 年度予算：101 百万円)</p> <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイバー空間の脅威への対処能力の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された (No. 18 と同じ)。
8	【基本目標 2 業績目標 5】 被疑者取調べの適正化の更なる推進	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被疑者取調べの適正化の更なる推進を図るため、必要な経費を予算措置した。 平成 29 年度概算要求 (11 百万円) (平成 29 年度予算：11 百万円) <p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、業績指標及び参考指標を変更することとした。</p>
9	【基本目標 3 業績目標 1】 暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な暴力団対策の推進や危険ドラッグを含む総合的な薬物事犯対策の推進のため、必要な経費を予算措置した。 平成29年度概算要求 (353百万円) (平成29年度予算：353百万円) <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力団対策の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された。 ・特殊詐欺対策の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された (No. 6 と同じ)。
10	【基本目標 3 業績目標 2】 国際組織犯罪対策の強化	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際組織犯罪対策の推進のため、必要な経費を予算措置した。 平成29年度概算要求 (1,492百万円) (平成29年度予算：1,381百万円) <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際組織犯罪対策の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された。
11	【基本目標 4 業績目標 1】 歩行者・自転車利用者の安全確保	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、達成手段を変更することとした。</p>
12	【基本目標 4 業績目標 2】 運転者対策の推進	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質性・危険性・迷惑性の高い運転行為の取締りの強化のため、必要な経費を予算措置した。 平成 29 年度概算要求：220 百万円 (平成 29 年度予算：220 百万円)

				<p>○ 平成 27 年改正道路交通法の円滑な施行による高齢運転者対策の強化のため、必要な経費を予算措置した。</p> <p>平成 29 年度概算要求：95 百万円 (平成 29 年度予算：95 百万円)</p> <p>○ 平成 29 年度地方財政計画において、高齢運転者等支援補助に必要な経費が容認された。</p> <p><事前分析表の変更> 評価結果を踏まえ、達成手段を変更することとした。</p>
13	【基本目標 4 業績目標 3】 道路交通環境の整備	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <p>○ 道路交通環境の整備を推進するため、特定交通安全施設等の整備事業に必要な経費を予算措置した。</p> <p>平成 29 年度概算要求：18,696 百万円 (平成 29 年度予算：17,556 百万円)</p> <p><事前分析表の変更> 評価結果を踏まえ、業績指標、参考指標及び達成手段を変更することとした。</p>
14	【基本目標 5 業績目標 1】 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <p>○ 重大テロ事案等の予防鎮圧を推進するため、必要な経費を予算措置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種違法行為に対処するための採証・解析能力の強化に要する経費 平成29年度概算要求（6 百万円） (平成29年度予算：6 百万円) ・テロに対処するための捜査能力の強化に要する経費 平成29年度概算要求（4 百万円） (平成29年度予算：4 百万円) ・重大テロ等対策用資機材の整備等に要する経費 平成29年度概算要求（553百万円） (平成29年度予算：553百万円) <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際テロ対策の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された (No. 16と同じ)。 ・我が国を取り巻く国際情勢の変化に対応するための事態対処能力の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された (No. 16と同じ)。 <p><事前分析表の変更> 評価結果を踏まえ、業績指標及び参考指標を変更することとした。</p>
15	【基本目標 5 業績目標 2】 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処	目標達成	引き続き推進	<p><予算要求></p> <p>○ 大規模自然災害等の重大事案に的確に対処するため、必要な経費を予算措置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害対策の推進等に要する経費 平成29年度概算要求(812百万円) (平成29年度予算：742百万円)
16	【基本目標 5 業績目標 3】 対日有害活動、	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <p>○ 国内外における情報収集・分析機能の強化により国際テロ等を未然に防止し、また、これらの事案に的確に対処するため、</p>

	<p>国際テロ等の未然防止及びこれら事案への的確な対処</p>			<p>必要な経費を予算措置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット・オシントセンターの運用に要する経費 平成 29 年度概算要求（88 百万円） （平成 29 年度予算：88 百万円） ・査証審査の厳格化及び迅速化の実現に必要なシステム改修に要する経費 平成 29 年度概算要求（9 百万円） （平成 29 年度予算：9 百万円） ・国際テロ対策に係る人材育成強化に要する経費 平成 29 年度概算要求（30 百万円） （平成 29 年度予算：26 百万円） ・I NWG 開催に要する経費 平成 29 年度概算要求（10 百万円） （平成 29 年度予算：10 百万円） <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際テロ対策の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された（No. 14 と同じ）。 ・我が国を取り巻く国際情勢の変化に対応するための事態対処能力の強化のための地方警察官を増員要求し、容認された（No. 14 と同じ）。 <p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、業績指標及び参考指標を変更することとした。</p>
17	<p>【基本目標 6 業績目標 1】 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実</p>	<p>相当程度進展あり</p>	<p>引き続き推進</p>	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等の総合的な支援の充実を図るため、必要な経費を予算措置した。 ・犯罪被害者等給付金 平成 29 年度概算要求（1,116 百万円） （平成 29 年度予算：1,116 百万円） ・犯罪被害者等に対するカウンセリングの充実に必要な経費 平成 29 年度概算要求（59 百万円） （平成 29 年度予算：59 百万円） ・民間被害者支援団体等との連携の推進に必要な経費 平成 29 年度概算要求（257 百万円） （平成 29 年度予算：257 百万円） ・犯罪被害者に対する公費負担制度の運用に必要な経費 平成 29 年度概算要求（174 百万円） （平成 29 年度予算：174 百万円） <p><事前分析表の変更></p> <p>評価結果を踏まえ、業績指標及び参考指標を変更することとした。</p>

18	<p>【基本目標 7 業績目標 1】 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止</p>	相当程度進展あり	引き続き推進	<p><予算要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバー犯罪の取締り、サイバー攻撃対策等を推進するため、必要な経費を予算措置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・サイバーセキュリティ対策に係る人材育成基盤の整備に要する経費 平成 29 年度概算要求（868 百万円） （平成 29 年度予算：868 百万円） ・サイバーセキュリティ対策に係る警察学校における教養に要する経費 平成 29 年度概算要求（149 百万円） （平成 29 年度予算：149 百万円） ・民間事業者等の知見を活用した試験問題作成に要する経費 平成 29 年度概算要求（22 百万円） （平成 29 年度予算：22 百万円） ・サイバー犯罪対策用資機材の充実に要する経費 平成 29 年度概算要求（29 百万円） （平成 29 年度予算：23 百万円） ・デジタルフォレンジック用資機材の増強等に要する経費 （No. 7 と同じ） 平成 29 年度概算要求（102 百万円） （平成 29 年度予算：101 百万円） ・サイバーテロ対策用資機材の増強等に要する経費 平成 29 年度概算要求（411 百万円） （平成 29 年度予算：411 百万円） ・サイバーセキュリティ対策研究・研修センターにおける研究及び研修の実施に要する経費 平成 29 年度概算要求（11 百万円） （平成 29 年度予算：11 百万円） ・サイバー犯罪対策に係る国際連携に要する経費 平成 29 年度概算要求（295 千円） （平成 29 年度予算：295 千円） ・最新の技術情報の国際的な共有の促進に要する経費 平成 29 年度概算要求（9 百万円） （平成 29 年度予算：9 百万円） ○ 平成 29 年度地方財政計画において、サイバー防犯ボランティアが行う犯罪抑止活動への支援に要する経費が容認された。 ○ 平成 29 年度地方財政計画において、サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーの導入に要する経費が容認された。 <p><機構・定員要求></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバー空間の脅威への対処能力の強化のための警察庁職員を増員要求し、容認された（No. 7 と同じ）。 <p><事前分析表の変更></p>
----	--	----------	--------	---

				評価結果を踏まえ、業績目標、業績指標、参考指標及び達成手段を変更することとした。
--	--	--	--	--

政策体系(国家公安委員会・警察庁)

※ この政策体系は、平成28年度に公表された評価に係るもの

基本目標	業績目標
1 市民生活の安全と平穏の確保	1 総合的な犯罪抑止対策の推進 2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化 3 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止
2 犯罪捜査の的確な推進	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上 2 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化 3 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化 4 科学技術を活用した捜査の更なる推進 5 被疑者取調べの適正化の更なる推進
3 組織犯罪対策の強化	1 暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化 2 国際組織犯罪対策の強化
4 安全かつ快適な交通の確保	1 歩行者・自転車利用者の安全確保 2 運転者対策の推進 3 道路交通環境の整備
5 国の公安の維持	1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処 2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処 3 対日有害活動、国際テロ等の未然防止及びこれら事案への的確な対処
6 犯罪被害者等の支援の充実	1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実
7 安心できるIT社会の実現	1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止